

柳原銀行記念資料館 2019（令和元）年度企画展 自主映画「東九条」の世界 2

～ 東九条松ノ木町 40 番地の闘いと宇治市「ウトロ」地区 ～

開催期間：2020（令和2）年3月4日（水）～ 3月29日（日）

展示替休館日：2月28日（金）～ 3月1日（日），4月1日（水），2日（木）



新型コロナウイルスによる
2020（令和2）年3月21日（土）
感染症拡大予防のため
午後1時30分～午後4時30分（開場午後1時）
会場 京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
3月21日（土）予定の
自主映画「東九条」（音声付）上映
記念シンポジウムを
パブリックディスカッション

講師：藤野 明英氏（宇治市元自治会元事務局員）
齋藤 正樹氏（ウトロを守る会）
中止いたします。



柳原銀行記念資料館

京都市下京区下之町 6-3

問合せ先：☎(075) 371-0295

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分

休館日：月曜日，火曜日，祝日

入館料：無料

交通機関：京都駅（JR，地下鉄）から徒歩約 8 分

市バス 205 系統，17 系統「塩小路高倉」下車

※駐車場はありませんので，公共交通機関を御利用ください。

ホームページ：京都市情報館（<http://www.city.kyoto.lg.jp/>）から「柳原銀行記念資料館」で検索

記念シンポジウム会場

京都市地域・多文化交流ネットワークセンター

京都市南区東九条東岩本町 31

交通機関：京都駅（JR，地下鉄）八条口から徒歩 15 分

※駐車場はありませんので，公共交通機関を御利用ください。

主催：京 都 市
NPO 法人 崇仁まちづくりの会



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



同じです あなたとわたしの 大切さ
令和2年2月発行
京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物第314969号

柳原銀行記念資料館 2019（令和元）年度企画展

自主映画「東九条」の世界 2

～ 東九条松ノ木町 40 番地の闘いと宇治「ウトロ」地区 ～

ごあいさつ

2017（平成 29）年度に、本資料館が企画展において公開した、東九条の青年や「学生セツルメント ※1 連合会」の制作による自主映画「東九条」（1969（昭和 44）年完成）は、当時の崇仁地区南部や東九条の、差別や貧困に苦しむ様子や様々なまちづくりの様子などの実態を余す事なく描いた価値の高いものです。シンポジウムでの公開時には大きな反響を呼び、当館に社会的・歴史的な背景の解説を求める声が多く寄せられました。それは以下の理由によるものと考えています。

1 映画の内容が、戦後の同和事業の推移と深く関係していると同時に、東九条のまちづくりの原点がうかがえること

また、崇仁地区への市立芸大の移転を機に、崇仁地区と東九条のような周辺地域と連携したエリアマネジメントの議論が盛り上がっている今日、まちづくりの原点を振り返る必要があること

2 東九条松ノ木町 40 番地は在日韓国人・朝鮮人の住人が多くを占めていたところ（人口 219 人の内 8 割 ※2）であり、住民が自治組織「東九条松ノ木町 40 番地自治会」を立ち上げ、公営住宅の建設といった住環境改善を中心としたまちづくりが進められて完結した稀な事例であること

また、宇治市「ウトロ」地区でも同様のまちづくりが進められており、両地区を比較することが重要であること

3 映画の内容や社会的・歴史的な背景を深く掘り下げることにより崇仁地区や東九条だけでなく、朝鮮半島情勢や東アジア全体に関する理解を深めることができること

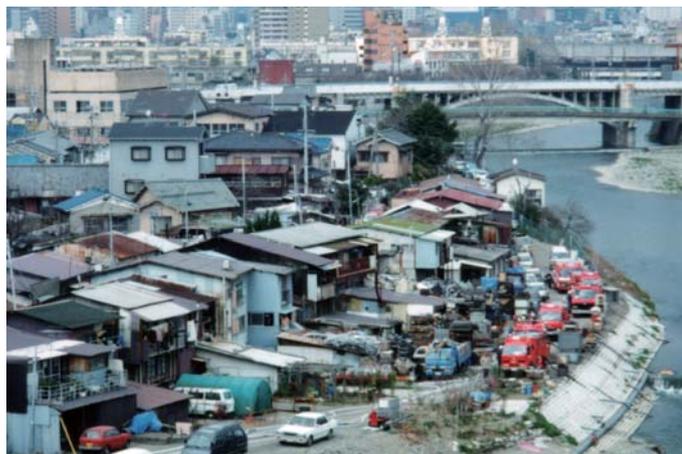
これらの声に応え、当館に保管されている当時の文書や写真を広く公開することで、今後のまちの在り方について、より深く考えるための契機にしたいと思います。

＜本企画展の展示物＞

- ①40 番地時代の写真、崇仁南部バラック当時の写真
- ②公営住宅建設時の設計図や写真
- ③当館蔵の写真

※1 セツルメント：宗教家や学生が、都市の貧困に苦しむ人々と生活を共にしながら生活の改善を目指す運動

※2 「東九条松ノ木町 40 番地に関する調査報告書」1993 年
東九条松ノ木町 40 番地生活実態調査委員会 より



写真上・下 1994（平成 6）年 3 月 17 日、18 日の東九条松ノ木町 40 番地火災